

I. 教育研修事業 (教育研修分類1)

1. 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ 質の高い看護の普及に向けた継続教育

- 1) 新人看護職員研修運営委員会実施
- 2) 教育委員会実施
- 3) 医療安全推進委員会実施
- 4) 感染管理委員会実施
- 5) 災害看護委員会実施
- 6) 助産師職能委員会実施
- 7) 看護師職能委員会 I 実施
- 8) 看護師職能委員会 II 実施

1) 新人看護職員研修運営委員会実施

(1) 新人看護職員多施設集合研修【オンデマンド研修】(県補助事業)

①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
フレッシュナースセミナー ～看護職員として必要な 基本姿勢と態度～	社会人・専門職業人としての心構え及び医療や看護を取り巻く環境について学び、これからの看護に活かす	看護を取り巻く環境・看護協会の役割/社会人・組織人とは/専門職業人としての心構え/マナーとコミュニケーション・看護倫理と情報管理/看護師として必要になる力	福岡県看護協会 会長 大和 日美子 福岡看護大学 飯野 英親
感染予防の基礎知識	感染予防の基礎知識について理解し、エビデンスに基づく感染対策と看護の実際を学ぶ	感染管理の基礎知識/標準予防策(手指衛生の必要性/PPE着脱のポイント/環境整備・リネン/洗浄・消毒・滅菌について)/労働者の安全管理/経路別感染予防策/新型コロナウイルス感染症に負けない感染対策	九州医療センター 有川 法宏
看護に活かす フィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～	身体のアセスメントをするために必要な観察の知識と技術の基礎を学ぶ	フィジカルアセスメントとは/呼吸器系・腹部のアセスメント(問診・聴診・打診・視診・触診)のポイント/事例/看護記録・報告/バイタルサイン	飯塚病院 藤岡 智恵
看護に活かす フィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～	身体のアセスメントをするために必要な観察の知識と技術の基礎を学ぶ	フィジカルアセスメントとは/循環器系のアセスメント(問診・聴診・打診・視診・触診)のポイント/脳神経系のアセスメント(意識障害評価時のポイント)/事例/看護記録・報告/バイタルサイン	飯塚病院 藤岡 智恵
基礎から学ぶ医療安全	医療安全の基礎知識を学び、患者および自分を守る重要性を理解する	医療安全とは/ヒューマンエラーと基本的安全行動/医療事故防止のための取り組み(患者確認・6R・転倒転落防止・KYT)/コミュニケーション(情報伝達・ISBAR)	福岡大学病院 押川 麻美
基礎から学ぶ褥瘡予防	エビデンスに基づいた褥瘡予防とケアが実践できる基礎知識を学ぶ	皮膚の構造と生理機能/褥瘡発生メカニズム/危険因子に沿った褥瘡予防ケア(体圧分散ケア/栄養管理/予防的スキンケア)	福岡大学筑紫病院 園田 みずき

②受講状況

(人)

研修テーマ	配信期間	応募者数	決定者数	受講者数
フレッシュナースセミナー ～看護職員として必要な基本姿勢と態度～	6/1(水)～ 10/2(日)	798	795	781
感染予防の基礎知識		491	487	476
看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～		601	596	587
看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～		602	599	590
基礎から学ぶ医療安全	9/1(木)～ R5年1/4(水)	425	416	394
基礎から学ぶ褥瘡予防		433	422	403
合 計				3,231

③アンケート結果

(%)

理解度	研修テーマ	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	フレッシュナースセミナー ～看護職員として必要な基本姿勢と態度～ (N=428)	72.9	26.4	0.5	0.0	0.2
	感染予防の基礎知識 (N=213)	82.2	17.8	0.0	0.0	0.0
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～ (N=242)	62.4	36.8	0.4	0.0	0.4
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～ (N=213)	63.9	35.2	0.0	0.0	0.9
	基礎から学ぶ医療安全 (N=149)	79.2	20.8	0.0	0.0	0.0
	基礎から学ぶ褥瘡予防 (N=141)	74.5	25.5	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度	研修テーマ	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	フレッシュナースセミナー ～看護職員として必要な基本姿勢と態度～ (N=428)	63.4	34.3	2.1	0.2	0.0
	感染予防の基礎知識 (N=213)	78.9	20.2	0.9	0.0	0.0
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～ (N=242)	67.9	31.7	0.4	0.0	0.0
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～ (N=213)	73.9	25.6	0.5	0.0	0.0
	基礎から学ぶ医療安全 (N=149)	77.2	22.1	0.0	0.0	0.7
	基礎から学ぶ褥瘡予防 (N=141)	75.2	24.8	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度	研修テーマ	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	フレッシュナースセミナー ～看護職員として必要な基本姿勢と態度～ (N=428)	72.5	26.2	0.9	0.2	0.2
	感染予防の基礎知識 (N=213)	85.4	14.1	0.0	0.0	0.5
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～ (N=242)	71.5	26.9	0.4	0.0	1.2
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～ (N=213)	75.1	24.4	0.0	0.0	0.5
	基礎から学ぶ医療安全 (N=149)	81.2	18.1	0.0	0.0	0.7
	基礎から学ぶ褥瘡予防 (N=141)	80.1	19.9	0.0	0.0	0.0

④まとめ

今年度もコロナ禍での研修企画であり、座学を中心とした内容の研修に関してはオンデマンド研修の「いつでもどこでも繰り返し視聴できる」利点を主眼に、全6テーマを約4ヶ月間配信した。

各研修の受講者数は、昨年度と比較して大幅な変化はなかった。受講施設の割合は、福岡地区が一番多く、200床以下の病院の受講が多かった。

受講者からは、「繰り返し視聴でき、学びを深めることができた。」「明日から実践できる内容が多く、看護に活かしていきたい。」との感想が多く、アンケートの理解度、満足度、役立ち度いずれも概ね高評価だった。

1) 新人看護職員研修運営委員会実施

(2) 新人看護職員多施設集合研修【集合研修】(県補助事業)

今を乗り切ろう！～入職6ヶ月を振り返って～

①目 標：新人が陥りやすい困難や悩みを知り、それに対する様々な考え方や感じ方を理解できる。

6ヶ月間を振り返り、自己との向き合い方、自己の成長を認識することができる。

②対象者：令和4年3月に卒業した者、もしくは免許取得後に医療機関等にはじめて就労する看護職員で、就労して1年未満の者

③プログラム

日程	時間	主な内容	講師 / ファシリテーター
9/20 (火) 【福岡地区】	9:00~ 12:00	新人看護師の特徴や陥りやすい気持ち / 今の自分の気持ちを自由に語ろう / 実際の場を思い浮かべながら話してみよう (演習)	【講師】 福岡大学病院 池田 静子
9/21 (水) 【北九州地区】			【ファシリテーター】各4名参加 (順不同) 中村千夏子 (九州医療センター) / 新町咲子 (九州中央病院)
9/26 (月) 【筑豊地区】			松尾由美 (飯塚市立病院) / 川崎智子 (済生会福岡総合病院)
9/27 (火) 【筑後地区】			江口恭世 (九州大学病院) / 松本直美 (新小倉病院) 佐々野時美 (久留米大学医療センター) / 井上範子 (大牟田病院) 高尾久美代 (浜の町病院) / 宮崎千賀 (今津赤十字病院) 山本直美 (芦屋中央病院) / 取違静代 (新小文字病院) 日永田里恵 (済生会飯塚嘉穂病院) / 小黒由美 (田川市立病院) 吉井千穂 (久留米大学病院) / 今村愛 (姫野病院)

④受講状況 (人)

	定員	応募者数	決定者数	受講者数
9/20 (火) 【福岡地区】	60	90	59	55
9/21 (水) 【北九州地区】	60	56	55	46
9/26 (月) 【筑豊地区】	60	44	43	38
9/27 (火) 【筑後地区】	60	31	55	50
合 計				189

※福岡地区は応募者数が定員超過したため、福岡地区25名を筑後地区へ移動調整した。

⑤アンケート結果 (%)

理解度		できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
		9/20 【福岡地区】 (N=55)	91.0	9.0	0.0	0.0
9/21 【北九州地区】 (N=25)	88.0	12.0	0.0	0.0	0.0	
9/26 【筑豊地区】 (N=36)	86.0	14.0	0.0	0.0	0.0	
9/27 【筑後地区】 (N=50)	82.0	16.0	0.0	0.0	2.0	

(%)

満足度		できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
		9/20 【福岡地区】 (N=55)	84.0	16.0	0.0	0.0
9/21 【北九州地区】 (N=25)	76.0	24.0	0.0	0.0	0.0	
9/26 【筑豊地区】 (N=36)	81.0	19.0	0.0	0.0	0.0	
9/27 【筑後地区】 (N=50)	78.0	22.0	0.0	0.0	0.0	

(%)

役立ち度		できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
		9/20 【福岡地区】 (N=55)	82.0	16.0	0.0	0.0
9/21 【北九州地区】 (N=25)	76.0	24.0	0.0	0.0	0.0	
9/26 【筑豊地区】 (N=36)	78.0	22.0	0.0	0.0	0.0	
9/27 【筑後地区】 (N=50)	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	

⑥まとめ

新規企画として新人看護職員の離職防止と多施設の新人看護職員同士の交流を目的とした集合研修を開催した。今年度は地区別での開催としたが、応募者数に偏りが生じ、福岡・筑後地区の合同開催となった。グループワークでは、初対面同士でも仕事に対する困難感、患者や先輩たちとの関わりで感じたことや学んだことを自由に語り合うことができていた。受講者からは「他施設の新人も抱えている悩みや不安が同じであり、心が軽くなった。」「様々な意見が聞けて自分を知る機会になった。」との感想が多く、アンケート結果も高評価だった。新人看護職員同士の交流を図る機会に対するニーズが非常に高いことがうかがえた。

2) 教育委員会実施

(1) 集合研修

①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
【准看護師対象研修】 認知症ケア	エビデンスに基づく認知症ケアに関する具体的方法を理解できる	認知症ケアの基礎知識 / 認知症ケアの具体的方法	田主丸中央病院 福嶺 初美
看護現場に活かすファシリテーション技術	ファシリテーションの効果と概要を理解できる	ファシリテーションとは / ファシリテーションのスキル / 演習	ひとづくり工房 esuco 浦山 絵里

②受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
【准看護師対象研修】 認知症ケア	6/16 (木)	0.5	60	32	32	27
看護現場に活かすファシリテーション技術	11/17 (木)	1	60	108	60	53

③アンケート結果

(%)

理解度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	【准看護師対象研修】 認知症ケア (N=26)	53.8	46.2	0.0	0.0	0.0
	看護現場に活かすファシリテーション技術 (N=42)	92.9	7.1	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	【准看護師対象研修】 認知症ケア (N=26)	42.4	53.8	3.8	0.0	0.0
	看護現場に活かすファシリテーション技術 (N=42)	95.2	4.8	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	【准看護師対象研修】 認知症ケア (N=26)	61.5	38.5	0.0	0.0	0.0
	看護現場に活かすファシリテーション技術 (N=42)	90.5	9.5	0.0	0.0	0.0

2) 教育委員会実施

(2) オンライン研修

①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
小児看護 Part2 ～家族看護～	小児領域における家族看護を理解し、看護実践場面での対応について学ぶ	小児領域における家族看護の基本的な考え方 / 小児領域における家族アセスメント / 小児領域における家族への対応	福岡大学 松本 祐佳里
多様な性の支援 ～LGBTQの理解を深めよう～	LGBTQを知り、看護職として必要な対応を理解する	LGBTQに関する知識 / 看護職として必要な配慮と対応	浅沼 智也
排泄を支える看護 ～QOLを高めるために～	排尿・排便障害を学び、QOLを高めるケアを理解できる	排尿・排便障害の分類 / 排尿・排便のアセスメント / 排尿・排便障害への対処方法 / QOLを高めるケア	日本コンチネンス協会九州支部 種子田 美穂子
看護過程と看護記録	看護記録の原理原則や法的責任を学び、看護過程の展開実践に役立つ記録のあり方を理解できる	看護記録の目的・意義 / 看護記録の法的位置づけ / 看護過程の展開 / 看護実践をどのように記録するか	第一薬科大学 長家 智子
がん性疼痛の看護ケア ～入院から在宅まで～	がん性疼痛の基礎知識や疼痛マネジメントについて理解できる / 疼痛緩和を通し継続看護が理解できる	がん性疼痛治療の基本 / 難治性疼痛への対応 / がん性疼痛のある患者・家族へのケア / アドバンスケアプランニング / 在宅を見据えたケアの実際	済生会福岡総合病院 野田 陽子
今、求められている外来看護とは	外来に求められる看護の専門性と役割を理解できる	医療制度とこれからの外来看護 / 外来の機能と看護職に求められる役割(地域連携・社会資源の活用等) / 患者個人のニーズに応じた効果的な支援	関西看護医療大学 箕浦 洋子
インシデント・アクシデント情報の分析を学ぼう	分析ツールを使って、定性的分析の基本を体験する	事例分析目的 / 事例分析手法の種類 / 情報収集から分析、改善対策立案までの過程 / 分析を体験(m SHELL分析)	社会保険田川病院 黒川 薫
家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～	家族看護を理解し、看護実践場面での対応について学ぶ	家族看護の基本的な考え方 / 家族アセスメント / 実践場面での家族への対応(演習)	東京慈恵会医科大学 児玉 久仁子
高齢者の End of Life Care ～意思決定を支える看護とは～	End of Life Careにおける看護職の役割について理解できる	End of Life Careとは何か? / 痛み・症状マネジメント / 意思決定支援	久留米大学病院 西村 知子
人工呼吸器の看護に 強くなろう!	人工呼吸器の仕組みや安全な人工呼吸器管理を理解できる / 人工呼吸器装着患者の看護が理解できる	NPPV 管理 / 人工呼吸器の原理と主な換気様式(モード) / アラーム対応と緊急時の対処方法 / 人工呼吸器装着中の患者ケアのポイント	大牟田市立病院 富松 高司
実践!脳卒中看護のきほん	脳血管障害について理解し、看護の実際を理解できる	脳卒中の基礎知識 / 部位別の症状とアセスメント / 脳卒中看護:急性期～維持期 / 生活と就労支援	九州労災病院 安永 恵
がん化学療法の看護ケア	がん化学療法の基礎知識や看護の実際を理解できる	基礎知識 / 化学療法中の看護ケアのポイント / アピアランスケア	九州がんセンター 鳥越 勇生
最新の褥瘡ケア	褥瘡ケアの具体的な方法を理解できる	創傷治癒過程 / 褥瘡局所管理 改訂DESIGN-R [®] 2020とTIME理論 / 外用薬とドレッシング材の概要と選択方法 / 事例検討	くるめ病院 青木 尚子
ウィズコロナ時代に自分が元気になる方法を見つけよう	メンタルヘルスに必要な知識・対処方法を学ぶ	メンタルヘルスの基礎知識 / ナースが抱えやすいストレスへの対処 / より良い環境を築くために / 演習(ケーススタディ・ストレス要因分析)	九州大学こころとそだちの相談室 姫島 源太郎
地域包括ケアに向けて在宅看護の現場から	在宅療養の実際を知り、在宅支援に必要な看護を理解できる	在宅看護とは / 地域との連携・サポート体制 / 在宅での療養支援・チーム医療(多職種連携) / 在宅療養に必要な知識と技術 / 看取りの支援	緩和ケア支援センターコミュニティ 平野 頼子

研修テーマ	目標	主な内容	講師
大人の発達障害への上手な関わり方 ～事例から理解を深めよう～	大人の発達障害について学び、職場での支援方法を理解できる	大人の発達障害とは / 発達障害の特性 / 発達障害に対する理解と対応 / 個人への支援 / 職場での支援	小倉記念病院 三木 浩司 後藤 明子
実践に活かす摂食・嚥下障害の理解と看護 ～「食べる喜び」を支える～	摂食・嚥下障害のある患者のQOLを高めるためのケアを習得できる	口から食べる意義 / 摂食・嚥下のメカニズムと機能評価 / 口腔内の評価・口腔ケア / 摂食嚥下訓練の方法	藤田医科大学 ばんだね病院 三鬼 達人
ナースができる浮腫へのアプローチ	浮腫のメカニズムを理解し、エビデンスに基づいたケアの方法を習得できる	浮腫の病態と症状 / アセスメント / エビデンスに基づいた浮腫ケア	HANA NURSING THERAPY 山口 晴美
看護研究 基本の「き」 ～次年度に向けて実践を研究するための基本を学ぼう～	臨床における看護研究の必要性を理解し、看護実践上の疑問（問題意識）を研究としてまとめることができる	看護研究とは / 臨床場における看護研究の必要性 / 看護研究の種類と方法 / 研究テーマの絞り込み方 / 文献検索の方法 / 研究計画書の書き方	福岡県立大学 増満 誠

②受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
小児看護 Part2 ～家族看護～	7/5 (火)	0.5	100	63	63	53
多様な性の支援 ～LGBTQの理解を深めよう～	7/7 (木)	0.5	100	71	71	65
排泄を支える看護 ～QOLを高めるために～	7/12 (火)	1	150	148	148	128
看護過程と看護記録	7/15 (金)	1	150	174	174	156
がん性疼痛の看護ケア ～入院から在宅まで～	7/20 (水)	1	150	183	183	161
今、求められている外来看護とは	7/30 (土)	1	60	106	66	57
インシデント・アクシデント情報の分析を学ぼう	8/2 (火)	0.5	60	304	66	54
家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～	8/27 (土)	1	100	176	100	80
高齢者の End of Life Care ～意思決定を支える看護とは～	8/30 (火)	0.5	150	211	211	180
人工呼吸器の看護に強くなろう！	9/2 (金)	1	150	279	200	166
実践！脳卒中看護のきほん	9/16 (金)	1	150	136	136	107
がん化学療法の看護ケア	9/27 (火)	1	150	148	148	118
最新の褥瘡ケア	10/12 (水)	1	100	336	200	175
ウィズコロナ時代に自分が元気になる方法を見つけよう	10/20 (木)	0.5	150	74	74	59
地域包括ケアに向けて在宅看護の現場から	10/29 (土)	1	150	92	92	78
大人の発達障害への上手な関わり方 ～事例から理解を深めよう～	11/11 (金)	1	150	122	122	107
実践に活かす摂食・嚥下障害の理解と看護 ～「食べる喜び」を支える～	11/15 (火)	1	150	174	174	148
看護研究 基本の「き」～次年度に向けて実践を研究するための基本を学ぼう～	R5年1/7 (土)	1	150	81	81	72
ナースができる浮腫へのアプローチ	R5年1/13 (金)	1	60	178	120	94

③アンケート結果

(%)

	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答	
理解度	小児看護 Part2 ～家族看護～ (N=52)	63.5	36.5	0.0	0.0	0.0	
	多様な性の支援 ～LGBTQの理解を深めよう～ (N=55)	74.6	23.6	0.0	1.8	0.0	
	排泄を支える看護 ～QOLを高めるために～ (N=108)	75.1	23.1	0.0	0.9	0.9	
	看護過程と看護記録 (N=146)	50.7	45.2	3.4	0.7	0.0	
	がん性疼痛の看護ケア ～入院から在宅まで～ (N=140)	79.3	19.3	0.0	1.4	0.0	
	今、求められている外来看護とは (N=50)	64.0	34.0	2.0	0.0	0.0	
	インシデント・アクシデント情報の分析を学ぼう (N=44)	59.1	38.6	0.0	0.0	2.3	
	家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～ (N=76)	81.6	18.4	0.0	0.0	0.0	
	高齢者の End of Life Care ～意思決定を支える看護とは～ (N=161)	77.7	21.7	0.0	0.0	0.6	
	人工呼吸器の看護に強くなろう！ (N=151)	62.9	35.8	1.3	0.0	0.0	
	実践！脳卒中看護のきほん (N=99)	72.7	27.3	0.0	0.0	0.0	
	がん化学療法の看護ケア (N=108)	60.2	38.9	0.0	0.0	0.9	
	最新の褥瘡ケア (N=148)	81.8	18.2	0.0	0.0	0.0	
	ウィズコロナ時代に自分が元気になる方法を見つけよう (N=54)	87.0	13.0	0.0	0.0	0.0	
	地域包括ケアに向けて在宅看護の現場から (N=75)	72.0	24.0	4.0	0.0	0.0	
	大人の発達障害への上手な関わり方 ～事例から理解を深めよう～ (N=94)	一部	74.5	24.5	1.0	0.0	0.0
		二部	87.2	12.8	0.0	0.0	0.0
	実践に活かす摂食・嚥下障害の理解と看護 ～「食べる喜び」を支える～ (N=132)	84.1	13.6	0.8	0.0	1.5	
	看護研究 基本の「き」～次年度に向けて実践を研究する ための基本を学ぼう～ (N=60)	26.7	65.0	8.3	0.0	0.0	
	ナースができる浮腫へのアプローチ (N=84)	79.8	20.2	0.0	0.0	0.0	

(%)

	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答	
満足度	小児看護 Part2 ～家族看護～ (N=52)	69.2	30.8	0.0	0.0	0.0	
	多様な性の支援 ～LGBTQ の理解を深めよう～ (N=55)	78.2	18.2	0.0	1.8	1.8	
	排泄を支える看護 ～QOL を高めるために～ (N=108)	77.8	18.5	0.9	0.9	1.9	
	看護過程と看護記録 (N=146)	49.3	44.5	4.1	1.4	0.7	
	がん性疼痛の看護ケア ～入院から在宅まで～ (N=140)	84.3	12.9	0.7	1.4	0.7	
	今、求められている外来看護とは (N=50)	70.0	28.0	2.0	0.0	0.0	
	インシデント・アクシデント情報の分析を学ぼう (N=44)	59.1	38.6	0.0	0.0	2.3	
	家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～ (N=76)	82.9	15.8	1.3	0.0	0.0	
	高齢者の End of Life Care ～意思決定を支える看護とは～ (N=161)	74.0	24.8	0.6	0.6	0.0	
	人工呼吸器の看護に強くなろう！ (N=151)	74.2	23.8	1.3	0.0	0.7	
	実践！脳卒中看護のきほん (N=99)	81.8	18.2	0.0	0.0	0.0	
	がん化学療法の看護ケア (N=108)	66.7	31.5	1.8	0.0	0.0	
	最新の褥瘡ケア (N=148)	79.1	20.3	0.6	0.0	0.0	
	ウィズコロナ時代に自分が元気になる方法を見つけよう (N=54)	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0	
	地域包括ケアに向けて在宅看護の現場から (N=75)	65.3	26.7	6.7	1.3	0.0	
	大人の発達障害への上手な関わり方 ～事例から理解を深めよう～ (N=94)	一部	76.6	21.3	2.1	0.0	0.0
		二部	88.3	10.6	1.1	0.0	0.0
	実践に活かす摂食・嚥下障害の理解と看護 ～「食べる喜び」を支える～ (N=132)	88.7	9.8	0.0	0.0	1.5	
	看護研究 基本の「き」～次年度に向けて実践を研究 するための基本を学ぼう～ (N=60)	38.3	48.3	11.7	1.7	0.0	
	ナースができる浮腫へのアプローチ (N=84)	76.2	23.8	0.0	0.0	0.0	

(%)

	研修テーマ						
		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答	
役立ち度	小児看護 Part2 ～家族看護～ (N=52)	69.2	30.8	0.0	0.0	0.0	
	多様な性の支援 ～LGBTQ の理解を深めよう～ (N=55)	81.8	16.4	0.0	1.8	0.0	
	排泄を支える看護 ～QOL を高めるために～ (N=108)	81.6	15.7	0.9	0.9	0.9	
	看護過程と看護記録 (N=146)	52.1	42.5	4.1	0.7	0.6	
	がん性疼痛の看護ケア ～入院から在宅まで～ (N=140)	80.0	18.6	0.0	1.4	0.0	
	今、求められている外来看護とは (N=50)	52.0	44.0	4.0	0.0	0.0	
	インシデント・アクシデント情報の分析を学ぼう (N=44)	65.9	31.8	0.0	0.0	2.3	
	家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～ (N=76)	93.4	6.6	0.0	0.0	0.0	
	高齢者の End of Life Care ～意思決定を支える看護とは～ (N=161)	77.6	22.4	0.0	0.0	0.0	
	人工呼吸器の看護に強くなろう！ (N=151)	75.5	23.8	0.0	0.0	0.7	
	実践！脳卒中看護のきほん (N=99)	82.8	16.2	1.0	0.0	0.0	
	がん化学療法の看護ケア (N=108)	71.3	27.8	0.0	0.0	0.9	
	最新の褥瘡ケア (N=148)	83.8	14.9	0.7	0.0	0.6	
	ウィズコロナ時代に自分が元気になる方法を見つけよう (N=54)	72.2	27.8	0.0	0.0	0.0	
	地域包括ケアに向けて在宅看護の現場から (N=75)	70.7	24.0	5.3	0.0	0.0	
	大人の発達障害への上手な関わり方 ～事例から理解を深めよう～ (N=94)	一部	68.1	28.7	3.2	0.0	0.0
		二部	77.7	19.1	3.2	0.0	0.0
	実践に活かす摂食・嚥下障害の理解と看護 ～「食べる喜び」を支える～ (N=132)	88.6	8.3	0.8	0.0	2.3	
	看護研究 基本の「き」～次年度に向けて実践を研究する ための基本を学ぼう～ (N=60)	40.0	48.3	8.3	1.7	1.7	
	ナースができる浮腫へのアプローチ (N=84)	77.4	22.6	0.0	0.0	0.0	

2) 教育委員会実施 (3) オンデマンド研修

①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
看護倫理 ～倫理的ジレンマとその対応～	看護倫理を学び、看護の倫理的ジレンマと対応について理解できる	看護倫理とは / 倫理的感受性 / 倫理的ジレンマとその対応	純真学園大学 村井 孝子
コロナ及び新興感染症に備えるための基礎知識	コロナ及び新興感染症に備えるための知識を得る	新型コロナウイルス感染防止対策への取り組み / 今後おこりうる新興感染症についての理解と対応	九州大学病院 小林 里沙
酸素療法の基礎を理解しよう	酸素療法の正しい知識を習得し、安全で効果的な酸素投与が実践できる	酸素療法の概要 / 低酸素血症の要因 / 酸素療法の種類 (低流量酸素システム・高流量酸素システム) / 投与酸素濃度の計算および酸素ボンベの残量計算 / 酸素療法の合併症	大牟田市立病院 富松 高司
【公開研修】 感染予防の基礎知識	感染予防の基礎知識について理解し、エビデンスに基づく感染対策と看護の実際を学ぶ	感染管理の基礎知識 / 標準予防策 (手指衛生の必要性 / PPE 着脱のポイント / 環境整備・リネン / 洗浄・消毒・滅菌について) / 労働者の安全管理 / 経路別感染予防策	九州医療センター 有川 法宏
【公開研修】看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～	身体のアセスメントをするために必要な観察の知識と技術の基礎を学ぶ	フィジカルアセスメントとは / 呼吸器系のアセスメント / 腹部のアセスメント / 呼吸器系の事例 / 腹部の事例 / 看護記録・報告・バイタルサイン	飯塚病院 藤岡 智恵
【公開研修】看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～	身体のアセスメントをするために必要な観察の知識と技術の基礎を学ぶ	フィジカルアセスメントとは / 循環器系のアセスメント / 脳神経系のアセスメント / 循環器系の事例 / 脳神経系の事例 / 看護記録・報告・バイタルサイン	飯塚病院 藤岡 智恵
臨床で使える心電図をマスターしよう	心電図の基本的知識及び正常・異常波形について理解できる	心電図の基本的な見方 / 不整脈の発生機序 / 不整脈発生時の看護	小倉記念病院 園田 拓也
災害看護の基礎知識	災害時の看護職の役割を理解できる	災害看護とは / 災害時における看護職の役割 / 平時の備えと防災	社会保険大牟田天領病院 清末 定美
QOL を高める心不全看護	心不全の病態を学び、QOL を高める援助方法について理解できる	心不全のフィジカルアセスメント / QOL を高める援助方法 / 退院支援 / 末期心不全の理解	わかばハートクリニック 小田切 菜穂子
入退院支援における看護の役割	入退院支援の基礎知識と看護の役割について学ぶ	入退院支援が求められる背景 / 院内における入退院支援のプロセスと看護職の役割	地域包括ケアコンサルティングあるす 河野 政子
【公開研修】 基礎から学ぶ医療安全	医療安全の基礎知識を学び、患者および自分を守る重要性を理解する	医療安全とは / ヒューマンエラーと基本的安全行動 / 医療事故防止のための取り組み (患者確認・6R・転倒転落防止・KYT) / コミュニケーション (情報伝達・ISBAR)	福岡大学病院 押川 麻美
【公開研修】 基礎から学ぶ褥瘡予防	エビデンスに基づいた褥瘡予防とケアが実践できる基礎知識を学ぶ	皮膚の構造と生理機能 / 褥瘡発生メカニズム / 危険因子に沿った褥瘡予防ケア (体圧分散ケア・ポジショニングのポイント・栄養管理・予防的スキンケア)	福岡大学筑紫病院 園田 みずき

②受講状況

(人)

研修テーマ	配信期間	応募者数	決定者数	受講者数
看護倫理 ～倫理的ジレンマとその対応～	6/1 (水) ～ 10/2 (日)	258	258	247
コロナ及び新興感染症に備えるための基礎知識		351	351	335
酸素療法の基礎を理解しよう		157	157	151
【公開研修】 感染予防の基礎知識		118	118	107
【公開研修】 看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～		210	210	204
【公開研修】 看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～		247	247	237
臨床で使える心電図をマスターしよう	9/1 (木) ～ R5年1/4(水)	790	790	738
災害看護の基礎知識		199	199	189
QOLを高める心不全看護		419	419	393
入退院支援における看護の役割		486	486	467
【公開研修】 基礎から学ぶ医療安全		171	171	161
【公開研修】 基礎から学ぶ褥瘡予防		263	263	253

③アンケート結果

(%)

理解度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護倫理 ～倫理的ジレンマとその対応～ (N=145)	50.3	48.3	0.7	0.0	0.7
	コロナ及び新興感染症に備えるための基礎知識 (N=167)	76.0	24.0	0.0	0.0	0.0
	酸素療法の基礎を理解しよう (N=54)	55.6	44.4	0.0	0.0	0.0
	【公開研修】 感染予防の基礎知識 (N=40)	85.0	15.0	0.0	0.0	0.0
	【公開研修】 看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～ (N=64)	60.9	39.1	0.0	0.0	0.0
	【公開研修】 看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～ (N=72)	61.1	37.5	0.0	0.0	1.4
	臨床で使える心電図をマスターしよう (N=221)	42.5	54.8	2.2	0.0	0.5
	災害看護の基礎知識 (N=62)	61.3	37.1	1.6	0.0	0.0
	QOL を高める心不全看護 (N=115)	65.2	33.9	0.9	0.0	0.0
	入退院支援における看護の役割 (N=196)	63.8	33.7	2.0	0.0	0.5
【公開研修】 基礎から学ぶ医療安全 (N=66)	89.4	10.6	0.0	0.0	0.0	
【公開研修】 基礎から学ぶ褥瘡予防 (N=91)	82.4	17.6	0.0	0.0	0.0	

(%)

満足度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護倫理 ～倫理的ジレンマとその対応～ (N=145)	53.8	41.4	4.1	0.0	0.7
	コロナ及び新興感染症に備えるための基礎知識 (N=167)	76.6	23.4	0.0	0.0	0.0
	酸素療法の基礎を理解しよう (N=54)	70.4	29.6	0.0	0.0	0.0
	【公開研修】 感染予防の基礎知識 (N=40)	82.5	17.5	0.0	0.0	0.0
	【公開研修】 看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～ (N=64)	68.8	29.7	1.5	0.0	0.0
	【公開研修】 看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～ (N=72)	69.4	29.2	0.0	0.0	1.4
	臨床で使える心電図をマスターしよう (N=221)	60.6	38.0	0.9	0.0	0.5
	災害看護の基礎知識 (N=62)	58.1	35.5	4.8	0.0	1.6
	QOL を高める心不全看護 (N=115)	59.1	38.3	1.7	0.0	0.9
	入退院支援における看護の役割 (N=196)	59.7	37.2	2.6	0.0	0.5
【公開研修】 基礎から学ぶ医療安全 (N=66)	81.8	16.7	1.5	0.0	0.0	
【公開研修】 基礎から学ぶ褥瘡予防 (N=91)	75.8	23.1	0.0	0.0	1.1	

(%)

役立ち度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護倫理 ～倫理的ジレンマとその対応～ (N=145)	52.4	44.8	1.4	0.0	1.4
	コロナ及び新興感染症に備えるための基礎知識 (N=167)	82.6	16.8	0.6	0.0	0.0
	酸素療法の基礎を理解しよう (N=54)	71.7	28.3	0.0	0.0	0.0
	【公開研修】 感染予防の基礎知識 (N=40)	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	【公開研修】 看護に活かすフィジカルアセスメント I ～呼吸・腹部～ (N=64)	67.2	28.1	4.7	0.0	0.0
	【公開研修】 看護に活かすフィジカルアセスメント II ～循環・脳神経系～ (N=72)	75.0	23.6	0.0	0.0	1.4
	臨床で使える心電図をマスターしよう (N=221)	65.2	32.1	1.3	0.0	1.4
	災害看護の基礎知識 (N=62)	58.1	38.7	1.6	0.0	1.6
	QOL を高める心不全看護 (N=115)	73.9	25.2	0.9	0.0	0.0
	入退院支援における看護の役割 (N=196)	63.3	34.7	1.0	0.5	0.5
【公開研修】 基礎から学ぶ医療安全 (N=66)	93.9	6.1	0.0	0.0	0.0	
【公開研修】 基礎から学ぶ褥瘡予防 (N=91)	82.4	17.6	0.0	0.0	0.0	

2) 教育委員会実施

(4) 日本看護協会と連携した研修

①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	演習支援者
認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【1回目】 (オンライン研修)	認知症高齢者における国の施策や医療の現状を理解することができる。/入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を理解することができる。	認知症高齢者に関する医療の現状と国の取組み/認知症に関連する疾患と病態・治療/組織で取組む認知症高齢者ケア/認知症高齢者の看護に必要なアセスメント/認知症高齢者の看護に必要なコミュニケーション援助技術/認知症高齢者ケアにおける多職種・看看連携のあり方/多職種・看看連携による認知症高齢者ケアの進め方/認知症高齢者に適した療養環境と調整方法/認知症高齢者に特有な倫理的課題/認知症高齢者の意思決定支援	久留米大学医療センター 中島 純子
認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【2回目】 (オンライン研修)			浜の町病院 星野 清子
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【1回目】 (集合研修)	看護補助者との協働において看護職と看護補助者の役割と責任が理解できる/効果的・効率的な看護を提供するための業務実施体制の整備の方策が理解できる/看護補助者の確保の方策と労働環境整備の方策が理解できる/看護職及び看護補助者の教育体制の整備の方策が理解できる	看護補助者の活用推進の背景/看護補助者の位置づけ/看護補助者との協働に関する基本的な考え方/業務実施体制の整備/看護職への教育体制の整備/看護補助者の労働環境の整備及び確保等/看護補助者の育成・研修・評価/看護補助者と協働のための体制整備に関する課題に対する対策案の作成	福岡大学筑紫病院 原田 英美 済生会福岡総合病院 大嶋 由紀 飯塚病院 久保 佳子 久留米大学病院 小川 由美
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【2回目】 (オンライン研修)			済生会福岡総合病院 大嶋 由紀 久留米大学病院 小川 由美 社会保険直方病院 那良 勝子 聖マリア病院 成清つゆみ
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【3回目】 (集合研修)			福岡大学筑紫病院 原田 英美 飯塚病院 久保 佳子 福岡徳洲会病院 瀬上 希代子 大牟田市立病院 古賀 幸代
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【4回目】 (講義:eラーニング/ 演習:オンライン研修)			福岡大学筑紫病院 原田 英美 済生会福岡総合病院 大嶋 由紀 飯塚病院 久保 佳子 久留米大学病院 小川 由美

②受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
認知症高齢者の看護実践に必要な知識 (JNA 収録 DVD 研修) 【1回目】	9/6 (火) 9/7 (水)	2	250	260	247	234	233
認知症高齢者の看護実践に必要な知識 (JNA 収録 DVD 研修) 【2回目】	10/6 (木) 10/7 (金)	2	250	215	215	201	199
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【1回目】	6/30 (木)	1	100	489	100	96	96
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【2回目】	8/25 (木)	1	120	212	124	117	117
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【3回目】	11/1 (火)	1	120	158	128	114	114
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【4回目】	R5年1/24(火)	1	120	93	93	89	89

③アンケート結果

(%)

理解度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【1回目】 (N=85)	84.7	15.3	0.0	0.0	0.0
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【2回目】 (N=116)	80.2	19.8	0.0	0.0	0.0
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【3回目】 (N=113)	73.5	25.7	0.0	0.0	0.8
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【4回目】 (N=89)	82.0	18.0	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【1回目】 (N=85)	82.4	16.5	1.1	0.0	0.0
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【2回目】 (N=116)	82.8	16.4	0.0	0.0	0.8
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【3回目】 (N=113)	73.5	25.7	0.0	0.0	0.8
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【4回目】 (N=89)	79.8	19.1	1.1	0.0	0.0

(%)

役立ち度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【1回目】 (N=85)	77.6	22.4	0.0	0.0	0.0
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【2回目】 (N=116)	77.6	21.6	0.0	0.0	0.8
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【3回目】 (N=113)	71.7	27.4	0.0	0.0	0.9
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【4回目】 (N=89)	80.9	19.1	0.0	0.0	0.0

2) 教育委員会実施

(5) スキルアップ研修 看護研究コース (3日間)

- ①目的：1) 看護実践上の疑問(問題意識)を研究としてまとめることができる
2) それぞれが目標を設定し、発表に向けて取り組むことができる
- ②受講資格：1) 「次年度に向けて始めよう！看護研究～臨床の質を上げる看護研究のすすめ～」または看護研究に関する研修(令和4年度以前)を受講した者
2) 学会や研究会で発表を予定している者
3) 全日程を受講できる者

③プログラム

	日程	テーマ	内容	講師
1日目	6/14 (火)	研究計画書を作ろう	研究の目的・意義 / 研究計画書の作成	福岡県立大学 増満 誠
2日目	8/23 (火)	データ収集と分析	データの種類と処理方法 / データ分析方法	日本赤十字九州国際看護大学 木村 涼平
3日目	10/25 (火)	研究のまとめと発表原稿作り	研究成果のまとめ方 / 論文の作成	九州看護福祉大学 森 雄太

※公開研修 2日目 オンライン開催

④受講状況

(人)

	定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
スキルアップ	10	12	12	12	11
1日目公開研修	100	30	30	30	
2日目公開研修	100	38	38	28	
3日目公開研修	100	24	24	23	

⑤アンケート結果

(%)

理解度		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	スキルアップ (N=11)	81.8	18.2	0.0	0.0	0.0
1日目公開研修 (N=15)	73.3	20.0	6.7	0.0	0.0	
2日目公開研修 (N=6)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
3日目公開研修 (N=13)	53.8	46.2	0.0	0.0	0.0	

(%)

満足度		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	スキルアップ (N=11)	81.8	18.2	0.0	0.0	0.0
1日目公開研修 (N=15)	66.7	26.7	0.0	6.6	0.0	
2日目公開研修 (N=6)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
3日目公開研修 (N=13)	61.5	38.5	0.0	0.0	0.0	

(%)

役立ち度		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	スキルアップ (N=11)	81.8	18.2	0.0	0.0	0.0
1日目公開研修 (N=15)	60.0	33.3	6.7	0.0	0.0	
2日目公開研修 (N=6)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	
3日目公開研修 (N=13)	61.5	38.5	0.0	0.0	0.0	

2) 教育委員会実施

(6) まとめ

今年度は、研修内容によって方法（集合、オンライン、オンデマンド）を選択し、企画した。特に、オンライン研修を多く企画し、ウィズコロナ時代においても確実に研修が実施できるように運営した。

オンライン研修では、定員を150名以内にするこゝで、受講時の通信環境を安定させ、出席確認を実施して修了者の受講履歴を登録することができた。また、マナブルの導入により、受講者個人への情報発信や資料配布が可能となり、オンライン研修の実施体制を整えることができた。応募が多い研修は、できる限り決定者数を増やし、受講ニーズに対応した。研修評価も概ねよい結果であった。

集合研修では、グループワークを多く取り入れた研修「看護現場に活かすファシリテーション技術」の理解度、満足度、役立ち度が高く、受講者から参加型学習で多くの気づきを得たこと、楽しく学習できたことが評価された。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7研修をオンライン研修に変更したが、決定者の8割～9割が受講し、他の研修と同等であった。その要因としては、受講者へ変更の可能性があることを事前周知していたこと、マナブルによる受講者への情報発信が円滑だったことがあると考える。

オンデマンド研修は、受講しやすく好評なため、前年度より4研修多い12研修を配信した。基礎的内容は新卒対象研修の動画を活用し、継続教育では新規テーマとして「看護倫理」と「入退院支援」を追加した。評価は、基礎的内容ほど高い傾向にあり、公開研修での配信も振り返り学習として有効であったようだ。

日本看護協会と連携した研修は、前年度と同じ2テーマの企画であった「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」は、診療報酬改定に伴う受講ニーズに応え、追加研修を含め4回開催、416名が修了した。

スキルアップ研修看護研究コースは、3日間コースの評価が高く、受講者のレディネスや研究の進捗に合わせた個別指導により理解度、満足度、役立ち度が高まるようだ。

今後も、研修目標に合わせて様々な方法を検討し、会員のニーズに応え、研修参加の機会を増やすことができるように新しい取り組みをすすめていく必要がある。

2) 教育委員会実施

(7) 看護実習指導者講習会フォローアップ研修

- ①目的：自己の実習指導体験を振り返り、実習指導者としての課題や今後の取り組みを明らかにすることで実習指導者のスキルアップを図る
- ②目標：1. 実習指導場面の振り返りができる
2. 自己の課題と今後の取り組みを明らかにできる
- ③対象者：令和3年度福岡県看護実習指導者講習会受講者で研修後実習指導者の役割を経験した者
- ④プログラム

日程	時間	内容	講師
R5年2/28 (火)	13:00～15:00	(演習) 実習指導における困難な場面・その理由と解決法	純真学園大学 村田 尚恵 純真学園大学 中村 健太郎
	15:00～16:00	(講義) 学生の「気づき」を引き出す実習指導	純真学園大学 村田 尚恵

⑤受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数
60	33	33	31

⑥アンケート結果 (%)

理解度 (N=30)	そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	思わない	未回答
	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度 (N=30)	そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	思わない	未回答
	86.7	13.3	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=30)	そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	思わない	未回答
	93.3	6.7	0.0	0.0	0.0

⑦まとめ

本年度、初めての企画研修であった。看護実習指導者講習会で学んだことを思い返して、実習指導者としての自己の役割や課題を振り返りながら今後の取り組みを明確にする機会や、コロナ禍での他施設の実習受け入れ状況などの情報交換を行う機会に繋がった。受講者からは、「学生に対するリフレクションだけではなく、自分自身の指導内容についてもリフレクションを意識し行っていきたい」「他の受講者からの意見や語り合うことで実習指導者としての自己の振り返りができた」「講習会后1年間初めて実習指導者を行い、日々これでいいのか？と自分に問いかけていた。研修を受講しリフレクションの大切さを学ぶことや自己への励みに繋がった」などの意見や評価があった。また、アンケートから「理解度」「満足度」「役立ち度」は全員が「そう思う」「ややそう思う」と回答しており、研修目標を達成できたと考える。

3) 医療安全推進委員会実施

(1) 医療安全管理者養成研修【e-ラーニング/演習】(日本看護協会委託)

- ①目的：所属施設及び地域で医療安全管理業務を実践できる。
- ②対象者：医療安全管理者または1年以内に医療安全管理者になる予定の者/上司の推薦があること/全時間受講可能なこと/看護師長に相当する職位以上にあることが望ましい
- ③プログラム
 eラーニング：35時間(日本看護協会プログラム)
 講義及び演習(オンライン)：5時間 R5年1/14、1/21 10:00～16:00
 (福岡県看護協会にて2回に分けて実施)

内容	講師
安全文化の醸成	福岡市立こども病院 吉富 ゆかり 九州中央病院 山田 さおり

④受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数
120	131	127	123

※受講決定は日本看護協会が決定

⑤アンケート結果

- ・安全管理業務を遂行するために必要な知識・技術について理解できたか (%)

理解度 (N=73)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	56.2	43.8	0.0	0.0	0.0

- ・5時間の集合研修を通して実践方法が理解できたか (%)

理解度 (N=73)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	42.5	54.8	1.4	0.0	1.4

※上記アンケートは日本看護協会が実施したものから一部抜粋

⑥まとめ

本研修は、昨年度より日本看護協会より委託事業となった。全40時間のうち、eラーニング(35時間)以外の集合研修(講義および演習：5時間)を福岡県看護協会で開催した。2回に分けて実施し、受講定員120名に対して123名が受講した。また、開催方法については、本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの開催へ開催方法を変更し開催した。

オンラインであったが、事前課題として、医療安全管理者としての役割や医療安全の体制整備や組織文化の醸成方法などについて、自己の考えや意見を求めた上で演習に参加することで、グループワークでは受講者間で活発に意見交換や情報共有ができていた。

また、講義・演習内容や具体的な事例等を医療安全推進委員会の委員全員で検討し、医療安全推進委員が講義、演習を担当することで、受講者にとって実践に活用しやすい内容になったのではないかと考える。

3) 医療安全推進委員会実施

(2) リスクマネージャー研修

①日 程：6/24 (金) 13:00～16:00

②対象者：医療安全管理者（専従、専任、兼任）及び医療安全管理者を目指す人

③研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
薬剤関連の医療事故防止対策について	薬剤関連事インシデント事例を通して、発生要因、再発防止策、拡大防止策及び未然防止策を構築するための基礎知識を身につけることができる。	薬剤関連の医療事故防止対策について	白岡中央総合病院 渡邊 幸子

④受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	
60	90	89	83	※応募締切前のキャンセル含む

⑤アンケート結果 (%)

理解度 (N=86)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	82.6	17.4	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度 (N=86)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	86.0	14.0	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=86)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	86.0	14.0	0.0	0.0	0.0

※上記アンケートはネットアンケート実施の為、重複回答があるため、回答者数が受講者数を上回っている

⑥まとめ

リスクマネージャーを対象とした研修であったため、医療安全管理者（専従、専任、兼任）の受講が61.4%となり医療安全管理者を目指す人の受講が38.6%の受講となった。立場や役職が違う中で研修の理解度、満足度、役立ち度が高く、短時間の研修かつオンライン研修であったが、わかりやすかったのではないかと考える。

4) 感染管理委員会実施

(1) 高齢者の看護、介護における実践的感染対策研修（精神科領域を含む）

- ①目的：介護療養型医療施設・高齢者施設での認知症・高齢患者（精神科領域を含む）における感染対策を理解し、スタッフに指導できる。
- ②目標：認知症患者も含む精神科領域の感染管理に関する知識を身につける。
- ③対象者：看護職及び看護職以外も可
- ④プログラム

日程	時間	内容	講師
11/25 (金)	10:00～11:00	高齢者施設の感染対策 高齢者の特性 / 高齢者介護施設の特性	飯塚病院 山下 智雅
	11:00～12:00	感染予防活動の実際	
	13:00～14:00	認知症患者も含む精神科領域における感染対策の特殊性	福岡県立 精神医療センター 太宰府病院 笹隈 友美
	14:10～15:10	高齢者施設におけるラウンドの実施状況や施設クラスターについて	コネクト合同会社 山口 征啓
	15:10～16:00	ディスカッション	飯塚病院 山下 智雅 福岡県立 精神医療センター 太宰府病院 笹隈 友美 コネクト合同会社 山口 征啓

⑤受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数
150	71	64	57

⑥アンケート結果 (%)

理解度 (N=34)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	70.6	29.4	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度 (N=34)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	76.5	23.5	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=34)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	79.4	20.6	0.0	0.0	0.0

⑦まとめ

介護施設等において感染対策を苦慮している現状があることから、少しでも多くの方に本研修を受講していただけるよう、介護施設等へも広報を行い、研修申込みシステム以外からの申し込みも可能とした。「高齢者施設の感染対策」では、高齢者の特徴を踏まえた講義内容、「認知症患者も含む精神科領域における感染対策の特殊性」では、認知症患者も含む精神科疾患患者を対象として、特徴的な疾患の成り立ちから実際の感染対策までの講義があったため、具体的な学びが得られる内容であったと考える。

アンケートでは、特に認知症や精神科患者特有の対応を学ぶことができたという反応が多かった。また、ディスカッションで受講者からの質問に直接回答する時間をとったため、大変高評価であった。

次年度の福岡県看護協会の重点目標に「感染に関する看護職育成～介護施設等で働く看護職等が受講しやすい環境づくり」が挙げられている。そのため、次年度は本研修をオンデマンド研修とし、介護施設等の看護職員が受講しやすいようにする。また、その他の職員にも受講対象を広げ、感染管理の質の向上につなげられることを目標とする。

5) 災害看護委員会実施

(1) 災害支援ナース育成研修【基礎編】(日本看護協会収録 DVD 研修)

- ① 目的：看護専門職の災害時支援者として必要な災害医療と看護の基礎知識を習得する災害支援ナースの役割と活動の実際を理解する。
- ② 目標：
1. 災害の種類や特徴および、過去の災害医療の教訓と我が国における災害時の医療体制の概要がわかる
 2. 災害サイクルの各期に必要な様々な場での災害看護の知識を習得する
 3. 災害時に特徴的な健康被害・疾病の病態と看護の概要がわかる
 4. 災害下での被災者および支援者のストレス反応の特徴を知り、そのケアや対処がわかる
 5. 災害時の支援者としての心構えや倫理的配慮、安全に活動するための留意事項がわかる
 6. 災害支援ナースの役割、機能、派遣の仕組みがわかる
 7. 災害支援ナースとして活動するための平時の準備ができる
 8. 災害支援ナースの活動の実際を想定することができる
- ③ 対象者：災害支援ナースを目指す者、または関心が高い者
- ④ プログラム ※ 1 回目：集合研修 2 回目：オンライン研修

	日程		時間	内容	講師
	1 回目	2 回目			
1 回目	7/21 (木)	9/1 (木)	9:40～12:30	災害医療の基礎知識	国立病院機構本部 DMAT 事務局 小井土 雄一
			13:30～15:30	災害時に求められる看護支援活動	国際医療福祉大学大学院 石井 美恵子
			15:40～16:30	災害時の感染対策	公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院 残間 由美子
2 回目	7/22 (金)	9/2 (金)	9:30～11:00	災害時の心理変化とこころのケア	国立病院機構本部 DMAT 事務局 河寫 譲
			11:10～12:00	看護協会の災害時看護支援活動	公益社団法人 日本看護協会 鎌田 久美子
				学びの共有	福岡県看護協会 災害担当者
			13:00～14:20	災害時の他職種の役割と連携	人吉市役所 健康福祉部保健センター 久保田 美枝子
			14:30～16:00	災害支援ナースとしての活動の実際(避難所支援)	社会保険大牟田天領病院 / 福岡県看護協会災害支援ナース 清末 定美
				災害支援ナースとしての活動の実際(病院支援)	社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 / 熊本県看護協会災害支援ナース 松野 ひとみ
			16:00～16:30	災害支援ナースとしての活動の実際(宿泊者施設支援)	医療法人弘遠会すずかけヘルスケアホスピタル / 静岡県看護協会災害支援ナース 大場 好子
	災害支援ナースの活動報告・登録・更新の手続き	福岡県看護協会 災害看護委員 笹隈 友美			

⑤ 受講状況 (人)

	定員	応募数	決定者数	受講者数	修了者数
1 回目	100	87	87	76	76
2 回目				6	6

⑥ アンケート結果 (%)

理解度 (N=78)	できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
	51.3	47.4	1.3	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=78)	役立つ	やや役立つ	あまり役立たない	役立たない	未回答
	75.6	23.1	0.0	0.0	1.3

⑦ まとめ

今年度は、7月開催の研修受講者に新型コロナウイルス感染による欠席者が多かったため、欠席者を対象に、救済措置としてのオンライン研修を9月に開催した。アンケート結果では、理解度・役立ち度ともに95%以上が理解できた・役立ったと回答があり、研修内容では、災害支援ナースの活動内容がわかりやすかったとの意見が多かった。また今年度より新たに学びの共有や災害時の感染対策の項目が入った研修となった。

5) 災害看護委員会実施

(2) 災害支援ナース育成研修【実務編】

- ①目的：1. 看護専門職の災害時支援者として、被災地や被災者に対して有効に機能する
2. 災害支援ナースとして他者と協働でき、自律した活動ができる
- ②目標：1. 災害支援ナースの活動の実際を想定することができる
2. 災害支援ナースとして活動する際の基本的な心構えがわかる
3. 災害支援ナースの活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる
- ③対象者：災害支援ナース育成研修【基礎編】受講修了者
- ④プログラム

日程	時間	内容	講師 / ファシリテーター	
1日目	9/15 (木)	10:00～ 16:00	【講義】 福岡県の災害医療体制 / DHEATについて	【講師】 永野朝男 (福岡県医療指導課) / 岩本治也 (福岡県京築保健 福祉環境事務所)
2日目	9/16 (金)	10:00～ 16:00	【机上シミュレーション】 災害発生から派遣～現地 での活動～帰還まで	【災害看護委員】 吉開香織 (川崎病院) / 川野健 (済生会二日市病院) / 笹隈 友美 (福岡県立精神医療センター太宰府病院) / 米川真未 (福 岡大学病院) / 里将平 (小倉記念病院) / 田口裕子 (九州医 療センター) / 藤山貴之 (福岡青洲会病院) / 真子美和 (福 岡県精神保健福祉センター)

⑤受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
80	72	72	69	69

⑥アンケート結果

(%)

理解度 (N=69)	理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	無回答
講義「福岡県の災害医療体制について」	34.8	60.9	2.9	0.0	1.4
講義「DHEATについて」	50.7	46.4	1.4	0.0	1.5
演習「災害発生時の情報収集」	49.3	49.3	0.0	0.0	1.4
演習「派遣決定から出発準備」	52.2	46.4	0.0	0.0	1.4
演習「携行品」	62.3	36.2	0.0	0.0	1.5
演習「災害支援ナースの心構え」	59.4	36.2	2.9	0.0	1.5
演習「チームビルディング / リーダー・メンバーの役割」	44.9	52.2	1.4	0.0	1.5
演習「移動中に行うこと」	50.7	46.4	1.4	0.0	1.5
演習「避難所における活動の原則」	44.9	52.2	1.4	0.0	1.5
演習「病院における活動の原則」	47.8	49.3	0.0	0.0	2.9
講義「避難所」について	47.8	40.6	1.4	0.0	10.2
演習「二次災害予防と安全管理」	43.5	53.6	0.0	0.0	2.9
演習「生活拠点の確保」	36.2	55.1	5.8	0.0	2.9
演習「他職種・他機関との連携」	40.6	52.2	4.3	0.0	2.9
演習「活動方針の決定・行動計画立案のための情報収集・アセスメント」	29.0	55.1	13.0	0.0	2.9
演習「新たな活動の依頼をされた時の行動」	40.6	50.7	4.3	0.0	4.4
演習「マスク対応」	44.9	50.7	2.9	0.0	1.5
演習「支援者のストレス」	43.5	53.6	0.0	0.0	2.9
演習「災害支援ナースの活動の報告」	37.7	55.1	4.3	0.0	2.9
演習「災害支援ナースの活動の記録」	39.1	52.2	5.8	0.0	2.9
演習「活動終了に向けての活動」	40.6	55.1	1.4	0.0	2.9
演習「活動の継続と収束」	33.3	59.4	2.9	0.0	4.4
演習「帰還後に行うこと」	44.9	43.5	5.8	0.0	5.8
演習「活動の成果と評価」	44.9	43.5	5.8	0.0	5.8

⑦まとめ

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、2会場をZoomでつなぎ開催した。Zoomの操作に多少時間を要したが、比較的スムーズに実施できた。アンケート結果では、ほぼ全ての項目で「理解できた」「まあまあ理解できた」との回答が90%を超えており、講義とグループワークを通して災害支援ナースとしての活動の実際をイメージすることが出来たと考える。「フレームワークの考え方が現場で役立つ」「何のために・誰のためにの視点を常に持ちたい」との感想も聞かれた。今年度は、研修受講者の約6割が災害支援ナース登録に繋がった。

5) 災害看護委員会実施

(3) 災害支援ナースフォローアップ研修

- ①目的：1. 看護専門職の災害時支援者として、被災地や被災者に対して有効に機能する
2. 災害支援ナースとして他者と協働でき、自律した活動ができる
- ②目標：1. 平時から災害支援ナースとしての必要な自己完結型の心構えが分かる
2. 災害支援ナースとして、災害のフェーズを捉え、活動場所の状況にあった活動方針を立案することができる
3. 災害支援ナースとして、活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる
4. 災害支援に関する最新の動向や情報が理解できる
- ③対象者：災害支援ナース登録者
- ④プログラム

日程	時間	内容	講師 / ファシリテーター
11/17 (木) ・ 11/18 (金) 同内容を 2日間実施	10:00 ~ 16:30	【講義】 福岡県の災害医療体制 / DHEATについて 【グループワーク】 派遣要請から出勤までの流れ、活動計画立案の考え方 / 情報整理、アセスメント、問題点の抽出 / 活動方針の立案 / 事例検討 / 活動報告 / 各フェーズのポイント	【講師】 永野朝男 (福岡県医療指導課) / 伊勢真美子 (粕屋保健福祉事務所) / 高田淳子 (田川保健福祉事務所) 【災害看護委員】 吉開香織 (川崎病院) / 川野健 (済生会二日市病院) / 笹隈友美 (福岡県立精神医療センター太宰府病院) / 米川真未 (福岡大学病院) / 里将平 (小倉記念病院) / 田口裕子 (九州医療センター) / 小畑亜希子 (飯塚病院) / 村上貴子 (九州病院) / 藤山貴之 (福岡青洲会病院) / 真子美和 (福岡県精神保健福祉センター)

⑤受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
100	132	132	124	124

⑥アンケート結果 (%)

理解度 (N=58)	理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	無回答
講義「福岡県の災害医療体制について」	41.9	57.3	0.8	0.0	0.0
講義「DHEATについて」	41.9	56.5	1.6	0.0	0.0
派遣要請から出勤までの流れについて	66.1	33.9	0.0	0.0	0.0
災害医療の原則 (CSCA) に沿って情報を整理し、アセスメントすること	39.5	54.9	3.2	0.0	2.4
災害のフェーズを捉え、活動場所の状況に応じた活動方針を立案する	37.1	58.9	2.4	0.0	1.6
研修を通してチームビルディングが理解できたか	37.9	54.9	2.4	0.0	4.8
活動報告、事例検討を通して実際の活動がイメージできたか	37.9	54.9	2.4	0.0	4.8
本日学んだ思考過程を活用し、チームでの活動方針の立案ができるか	18.6	73.4	4.8	3.2	0.0

⑦まとめ

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、グループワークは2会場で実施、講義やグループ発表は一同に会して実施したが、運営はスムーズにできた。アンケート結果では、全ての項目で「理解できた」「まあまあ理解できた」との回答が90%を超えており、ほぼ目標は達成したと考える。今年度は新たに事例を作成し、実際の派遣時のアセスメントや活動計画等を提示する等、よりリアルに体験できる工夫を行った。

6) 助産師職能委員会実施

(1) シンポジウム【オンライン研修】

- ①日程：11/19(土)
 ②対象者：保健師、助産師、看護師、准看護師
 ③研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
母子とその家族のための地域包括ケア研修 『困難を抱える母子とその家族のための地域包括ケア』シンポジウム	1)DV や望まない妊娠などの特定妊婦や、産前産後ケアなど、様々な分野における講演を通して、母子支援の実際を知ることができる。 2)意見交換を通して、母子支援に関する知見を得ることができる。	1)特定妊婦への支援 2)産後ケア(NPO法人にこりでの取り組み) 3)特別養子縁組制度について 4)DVと子ども DVが及ぼす母子への影響	九州大学病院 梶原 世津 NPO法人にこり 松丸 実奈 福岡県福岡児童相談所 立石 郁子 S・ぱ〜ぶるリボン 甲木 京子

④受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数
80	73	73	69

⑤アンケート結果 (%)

満足度(N=42)	非常に満足	満足	やや不満	不満	未回答
	40.5	57.1	2.4	0.0	0.0

(%)

役立ち度(N=42)	活かせる	活かせると思わない	未回答
	95.0	5.0	0.0

⑥まとめ

近年、少子化やハイリスク妊産婦の増加など、母子を取り巻く環境には課題が多くある。そのような状況の中で日本看護協会では、母子のための地域ケアシステムを推進している。

初めて開催したこのシンポジウムでは、助産師・看護師・保健師の他、ソーシャルワーカーの参加もあった。アンケートの中で参加理由として、「講演のテーマに興味を持った」の他、「特定妊婦の対応をしており、学びを深めたい」「地域包括ケアについての状況を知りたい」という声があり、対応困難な事例を経験し、学びを深めたいという参加者の思いがあった。

また、「知識を得ることができた」「現場での支援の具体策が見つかった」という業務上で役立つ知識を身に付けられたという意見の他、「私たちが地域や関係機関に繋ぎ、母子と伴走することの大切さがわかった」という声があった。

母子に関わる受講者それぞれが、母子の立場を考え、多職種で繋がることの大切さを感じられるシンポジウムとなった。

7) 看護師職能委員会 I 実施

(1) 集合研修

① 研修内容

研修テーマ	主な内容	講師
看護実践ユマニチュード研修 / 准看護師の進学支援	ユマニチュードを学び看護実践に活かす / 准看護師進学支援	福岡脳神経外科病院 杉本 智波 専門学校麻生看護大学校 高橋 洋子
特定行為研修	特定講師研修修了者の実践報告 / 医師の立場からみた特定行為研修制度	福岡市民病院 原 裕次 白十字病院 牛島 めぐみ 佐賀大学医学部附属病院 江村 正
看護管理者研修及び交流会	地域包括ケア推進に向けた外来看護師の役割発揮 / 多職種とのタスクシェア・タスクシフト実践報告 / 意見交換会	日本看護協会 鎌田 久美子 福岡赤十字病院 不動寺 美紀 福岡大学筑紫病院 和田 加代

② 受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
看護実践ユマニチュード研修 / 准看護師の進学支援	7/30 (土)	1	100	29	27	22
特定行為研修	9/10 (土)	1	55	36	33	31
看護管理者研修及び交流会	11/5 (土)	1	85	44	43	42

③ アンケート結果

(%)

役立ち度	研修テーマ	とても役立つ	やや役立つ	あまり役立たない	全く役立たない	未回答
	看護実践ユマニチュード研修 / 准看護師の進学支援 (N=20)	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	特定行為研修 (N=31)	48.4	51.6	0.0	0.0	0.0
	看護管理者研修及び交流会 (N=41)	53.7	46.3	0.0	0.0	0.0

④まとめ

当委員会では、福岡県看護協会の動向と重点事業の活動を核に、病院で働く看護師や准看護師の皆様の看護実践能力や看護管理能力の向上のために次の3つの研修を企画した。

【看護実践研修会（ユマニチュード研修）と准看護師の進学支援】

ユマニチュードインストラクターの資格を持つ講師より、「看護実践ユマニチュード」をテーマにユマニチュードの「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つの柱と5つのステップとして①出会いの準備、②ケアの準備、③知覚の連結、④感情の固定、⑤再会の約束など、具体的なケア方法について講義をして頂いた。参加者からは、「わかりやすく、面白かった」「明日からの看護実践に役立てていきたい」と患者さんと向き合う具体的な学びとなった。

〈進学説明会〉通信制学校の特徴や学習方法、奨学金制度の説明があり、「進学を検討している」「現在進学中」の参加者からは、具体的な支援方法の説明を受け「進学を検討しており、良い刺激になり気持ちが高まった」「具体的な内容を知ることができ、役に立った」などの意見が聞かれた。今後も実践に役立つ内容や准看護師から進学した経験者の話が聞ける企画をしたい。

【特定行為研修】

今回の内容は、医師の立場から看護師に期待していることを講演してもらい、特定行為研修修了者から活動の実践を報告してもらった。会場からの質問も活発で、関心の高い研修会となった。参加者は、特定行為研修を受講しようと考えている方や、研修修了後に活動方法を模索している方で、「具体的な実践内容を聞くことができ、これからの組織内の体制づくりに生かしたい」「自分の今後の活動について暗中模索状態だったが、今回の講演を聞いて糸口が見つかった」「特定行為を目指そうと考えるきっかけとなった」などの意見が多かった。今後も継続研修として企画していきたい。

【看護管理者研修及び交流会】

～地域包括ケアにおける外来看護師役割発揮～多職種連携・タスクシェアシフト～

全世代型地域包括ケア時代を迎えて、看護職の役割拡大や外来に焦点を当てて多職能連携やタスクシェアシフトについて交流会を企画した。鎌田理事より日本看護協会が目指している取り組みや外来看護に求められていることについて講話、実践報告として慢性看護専門看護師の多職種連携・チーム医療の実際、認定看護管理者が救急外来から地域へつなぐ連携体制の仕組みづくりの実際について報告をいただいた。交流会では、各施設が取り組んでいることや、自施設で取り組む課題などについて活発な意見交換が行われた。また福岡県職員の参加もあり、行政との連携を考える有意義な時間となった。参加者の88%が看護管理者で、「地域へつなぐ、行政との連携の重要性を実感した」「自施設の取り組みの参考になった」「看護の役割を地道に果たしていくことの大切さを学んだ」などの意見があり、全員から「役立つ」と回答があった。

以上の結果を踏まえて、次年度も看護の質の向上に役立つ研修を企画する。

8) 看護師職能委員会Ⅱ実施

(1) 集合研修

①研修内容

研修テーマ	主な内容	講師
在宅・施設看取り研修 ※オンライン研修	在宅での看取りに関わる看護職間の情報共有、連携の推進	たろうクリニック 内田 直樹
在宅・施設管理者研修会	在宅・施設管理者のマネジメント力向上（活気ある職場づくりについて）	一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 上野 恵利子

②受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
在宅・施設看取り研修	9/10 (土)	1	100	116	74	64
在宅・施設管理者研修会	11/12 (土)	1	50	31	31	31

③アンケート結果

(%)

	研修テーマ	とても役立つ	やや役立つ	あまりできない	できない	未回答
役立ち度	在宅・施設看取り研修 (N=57)	79.0	21.0	0.0	0.0	0.0
	在宅・施設管理者研修会 (N=31)	93.5	6.5	0.0	0.0	0.0

④まとめ

【在宅・施設看取り研修】

受講者は非常に熱心に講義を受け、アンケート結果では好評な意見が多く満足度も高かった。

目標とした在宅施設看取りの良い情報を得ることができ、今後の実践につながると考える。来年度は、受講者から要望のあった ACP を中心とした研修を企画する予定。

昨年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン研修としたがグループワーク時、パソコン操作が苦手な受講者がいた。今後の対応が必要。

【在宅・施設管理者研修会】

アンガーマネジメントの講義を受けることにより、怒りのコントロールや教育的なしかり方を理解し、管理者としてのマネジメント力向上、活気ある職場づくりの視点を持つことにつながり研修の目的に沿う形となった。グループワークも管理者同士の交流の場となり良い効果を上げた。アンケート結果も満足度が高かった。来年度も活気ある職場づくりができる研修の企画を予定。